

- 有限会社田和楽では稲作地域の課題であるもみ殻を処理する為、炭化装置を導入しもみ殻燻炭に加工することで加里やケイ酸肥料を製造する。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

・もみ殻

- ・種類：特殊肥料
- ・バイオくん炭
(もみ殻くん炭)

■ 作物

・水稻

■ 主成分の含有量 (%) ・特徴等

N	P	K	Si	Ca
0.0%	0.0%	1.1%	50%	0.6%

■ 取組の経緯・内容・成果 (見込み)

取組の経緯

- ・庄内地域では、水稻の調整段階で排出されるもみ殻の利用される場面が少なくなり、処分料をかけて産業廃棄物として処分されることもある。また近隣においては畜産農家も減少の一途をたどり、その処理方法が地域農業の課題となっていた。

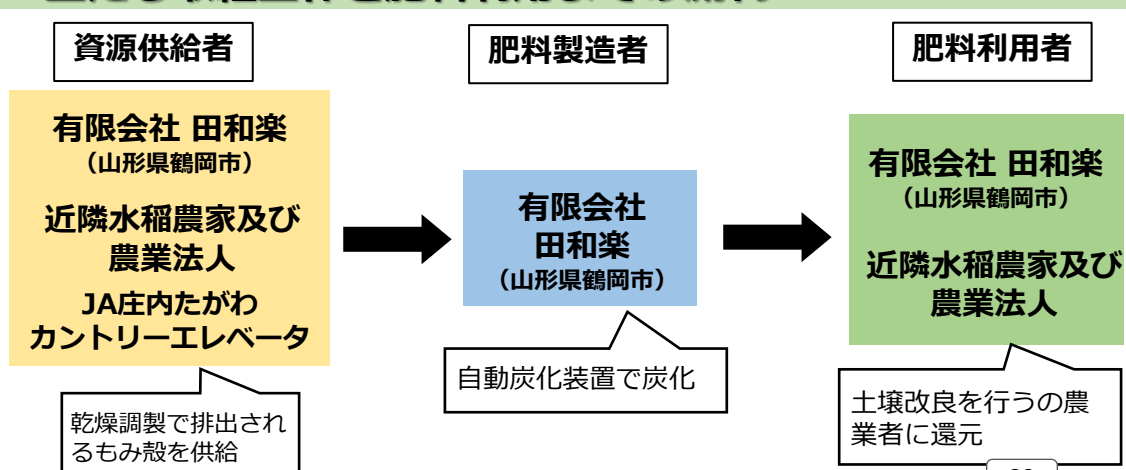
取組の内容

- ・国内資源である籾殻をくん炭に加工し、耕種農家へ供給することで化学肥料の代替肥料として定着させる。
- ・近年水田のケイ酸不足が警鐘されており、その対策の一つとしてケイ酸分を多く含むもみ殻燻炭を還元することで土壌改良を図る。
- 今後、地元普及センターの協力のもと、施肥マニュアルの作成・普及に努める。

成果 (見込み)

- ・廃棄されるもみ殻を活用し、土壌改良する地域農家に還元。
- ・令和7年より圃場へ散布開始。期待する効果としてケイ酸による受光体勢・収量食味向上。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ・主要な肥料利用者である農家のほか、JA等の販売事業者への更なる周知
- ・需要期に合わせた安定した供給体制の確立
- ・広域流通による供給量の一層の拡大



製品画像



炭化炉の画像



実証ほ場の画像